

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証（土浦市）

単位（千円）

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
1	単	全国シクロクロス サミット開催事業	①コロナ下において、屋外で活動するサイクリングによる観光が見直されている中、令和3年12月の全日本選手権開催を契機に機運が醸成しつつある、オフロードで行われる自転車競技であるシクロクロスに関する総合イベントを開催することで、コロナへの感染リスクが少ない自転車を活用した地域活性化の更なる推進を図る。 ②全国シクロクロスサミット開催委託料	③-II-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	R4.4.1	R4.11.16	2,000	1,999	全国シクロクロスサミットの参加者2,000人	「シクロクロスサミットin土浦」を開催 ○開催日 令和4年10月9日(日) ○会場 土浦市川口二丁目 りんりんポート土浦周辺 ○内容 ・日本代表選手団監督 三船彦彦氏トークイベント ・ピギナススクール ・レーシングスクール ・弱虫ペダル作家 渡辺航氏トークイベント ・シクロクロスに関するセミナー ・日本代表候補選手団合宿 ・JCF強化指定選手トークイベント ・弱虫ペダルチャリティサコッシュサイン会 ・Radio Rueda ボットキャスト公開収録	オフロードで行われる自転車競技大会「茨城シクロクロス土浦ステージ」の前日に、「シクロクロスサミットin土浦」を開催し、コロナへの感染リスクが少ない自転車を活用した地域活性化に寄与した。 「シクロクロスサミットin土浦」の来場者 約1,500人	(仮称)全国シクロクロスサミット開催事業	R4当初	政策企画課
2	単	DX推進計画策定事業	①コロナ下において、市の業務の中で対面により受付している申請、届出関係を電子申請化、オンライン申請化し、接触機会の減少による感染リスクの低減化を図るため、行政サービスのデジタル化等による業務変革を推進するDX計画を策定し、定型業務のうち単純かつ工程が多い業務について、自動化できる仕組みを導入する。 ②DX計画策定委託料	③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4.1	R5.3.20	7,459	7,459	DX計画の策定 ・行政手続のオンライン化 80件 ・マイナンバーの普及促進 70.0% ・公共施設のWiFi7接続ポイント数 30箇所 ・AI・RPA導入業務 15事業	令和4年度中に土浦市DX推進計画策定委員会を4回開催し、土浦市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画を策定し、令和5年度から当該計画に基づき、以下に代表されるDXに関するあらゆる事業に取り組んでいる。 ・スマートフォン講座(デジタルデバйд対策) ・デジタルセミナー開催(地域社会のデジタル化) ・電子申請の推進(行政手続のオンライン化) ・情報セキュリティ研修会の開催(セキュリティ対策の徹底)等	・行政手続のオンライン化 154件 ・マイナンバーの普及促進 79.0% ・公共施設のWiFi7接続ポイント数 26箇所 ・AI・RPA導入業務 8事業	DX推進計画策定事業	R4当初	行革デジタル推進課
3	単	公式LINE導入 事業	①市ホームページに掲載している広報紙や市からのお知らせを、市民に自動かつリアルタイムで発信するため、公式LINEを導入し、コロナ陽性者の発生状況やワクチン接種の最新情報等、市民が必要とする情報について、市から自動配信によりプッシュ型で迅速に伝達する環境を整備する。 ②公式LINE導入委託料	③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4.1	R5.3.31	1,353	1,353	公式LINEの登録者数5,000人	新型コロナウイルス感染症に関する各種情報を、リアルタイムで配信した。 公式LINEの登録者数 10,935人(R6.2.5現在)	新型コロナウイルス感染症に関する各種情報を、リアルタイムで配信することにより、市民の不安の解消や真に必要な情報の効率的かつ効果的な周知が図られた。	公式LINE導入事業	R4当初	広報広聴課
4	単	インターネットを 活用した情報発信 事業	①市の地域資源や特産物、風景などの映像を作成し、ホームページや動画配信サイト等で効果的に配信し、市の魅力を広くPRすることで、コロナによる人流抑制で落ち込んだ観光入込客数の増加及び飲食店や土産品、観光体験等の消費喚起につなげる。 ②インターネットを活用した情報発信業務委託	③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4.1	R5.3.31	2,200	2,200	市のPR動画の再生回数5,000回	主に20代～30代の首都圏在住者及び市民に向け、土浦で体験できるアクティビティの魅力伝える動画(歴史文化編、イベント編、れんこん編、ワカサギ・シラウオ編、総集編の5本)を作成し、ホームページやSNS等で公開した。 市のPR動画の再生回数 7,036回(R6.2.5現在)	人流抑制により、観光入込客数及び消費が落ち込んでいるなか、作成したPR動画を配信することにより、市を知らない方には土浦への関心喚起・来訪動機、市民には新たな土浦のまちの魅力再発見のきっかけとなった。	インターネットを活用した情報発信事業	R4当初	広報広聴課
5	単	窓口業務キャッ シュレス決済導入 事業	①新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減と市民の利便性の向上のため、証明書発行等の手数料や使用料について、クレジットカード、電子マネー、2次元コードでの支払いを可能とするキャッシュレス決済用の機器を導入する。 ②備品購入費、工事請負費、通信運搬費(回線使用料)、手数料	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R5.3.31	21,728	21,660	キャッシュレス決済の導入(7台)	以下のとおりキャッシュレス決済の導入を実施。 ・導入機器：キャッシュレス決済機器及び自動釣銭機能付レジ ・導入箇所：7カ所 ・導入台数：計8台 本庁舎市民課2台 支所出張所5台(5カ所、各1台) 本庁舎課税課1台 ・導入環境整備：決済用光回線及び庁内LAN回線敷設	決済のうち約5.8%が現金からキャッシュレスに代わり、現金決済はレジを自動釣銭機能付として市民と職員の接触機会が減少したことにより、新型コロナウイルスへの感染リスクの低減に寄与した。	キャッシュレス決済事業	R4当初	市民課 課税課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交付 金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
6	単	高機能換気設備等導入支援事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクの低減とCO2排出量削減のため、不特定多数の人が集まる飲食店等の業務施設に対して、高機能換気設備を始めとする高効率機器等の導入を支援する。 ②高機能換気設備等導入支援事業費補助金	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R5.3.31	1,900	1,900	高機能換気設備等を導入した事業者への補助金40件	以下のとおり、高機能換気設備等導入支援事業費補助金を交付した。 ◎補助金額 ・環境省補助金の交付確定額の1/6(上限10万円) ◎交付実績 ・決算額:1,900千円 ・支給件数:19件 ・支給事業者数:17事業者	不特定多数の人が集まる飲食店等の業務用施設に対して、高機能換気設備等の導入を支援することにより、新型コロナウイルス等の感染症の拡大リスクを低減するとともに、業務用施設からのCO2排出量の削減に寄与した。	高機能換気設備等の導入支援事業	R4当初	環境保全課
7	単	保育対策総合支援事業費補助金	保育環境改善等事業(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) ①感染症の長期化が見込まれるなか、今後の感染拡大に備え、保育所で使用する感染予防対策物品を購入する。 ②消毒液等感染防止のための物品購入	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R5.3.31	19,818	8,700	感染防止用消耗品の購入(公立保育所5所) 民間保育所等への補助金(45園)	以下のとおり、感染症対策を実施した。 ・公立保育所感染症対策消耗品購入 2,348千円 空気清浄機:23台、 サーキュレーター:27個、 折りたたみテーブル:23台 等 ・新型コロナウイルス感染症対策業務会計年度任用職員:5人 2,442千円 ・民間保育所等への新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金:37施設 15,028千円	公立保育所、民間保育所等において、消毒液等の新型コロナウイルス感染症対策物品を購入し、継続的な保育事業実施に向けて環境整備を図った。	新型コロナウイルス感染症対策支援事業	R4当初	保育課
8	単	観光施設等新型コロナウイルス感染症対策事業	①市の観光施設で使用する新型コロナウイルス感染症予防対策物品を購入し、公共空間の安心・安全の確保に供する。 ②サーマルカメラ、空気清浄機の購入費用	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R4.10.6	1,759	1,759	感染予防対策物品の購入 ・サーマルカメラ11台 ・空気清浄機13台	以下の各感染対策物品を購入し、公共施設に配備した。 ◎サーマルカメラ 11台購入、6施設に配備 ◎空気清浄機 13台購入、6施設に配備	新型コロナウイルス感染症の再拡大や感染拡大の長期化に対応するため、市の公共施設に各感染対策物品の配備を強化することにより、来館者が安心して施設を利用できる環境を整えることができた。	観光施設等新型コロナウイルス感染症対策事業	R4当初	商工観光課
9	単	観光施設キャッシュレス決済導入事業	①新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減と市民の利便性の向上のため、市の観光施設において、クレジットカード、電子マネー、2次元コードでの支払いを可能とするキャッシュレス決済用の機器を導入する。 ②備品購入費、消耗品費、手数料	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R4.10.11	6,999	6,998	キャッシュレス決済の導入(3台)	以下のとおり、市の観光施設にキャッシュレス決済用の機器を導入した。 ◎POSレジスター及び自動釣銭機 3台購入 まちかど蔵「大徳」、きらら館、小町の館の3施設に1台ずつ配備	機器導入により、来館者と職員や職員同士の接触の機会を減らすことで、感染拡大防止を図ることができた。	キャッシュレス決済事業	R4当初	商工観光課
10	単	レンタサイクル利用促進事業	①ウィズコロナ下での社会経済活動の再開に向け、市内のレンタサイクル利用者に対して、プレミアム付きクーポンを発行することで、食事や土産品、観光体験等の消費を喚起し、自転車を活用した観光の推進を図る。 ②補助金交付対象経費(3,000円分の商品券を1,000円で販売、差額及び事業執行に係る事務費)、商品券の購入券の印刷及び郵送に係る経費	③-II-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	R4.4.1	R5.3.31	12,076	12,075	レンタサイクル利用者へのプレミアム付きクーポンの発行8,000件	以下のとおり、レンタサイクル利用者へのプレミアム付きクーポンを発行した。 ◎プレミアム付きクーポン発行数 2,962件 当クーポンによるレンタサイクル利用台数 3,063台	本クーポンの発行によりサイクリストの誘客、レンタサイクルの貸し出し数増加を図ることができた。また、プレミアムクーポンが市内で利用されることで、地域経済の活力向上に寄与した。	レンタサイクル利用促進事業	R4当初	商工観光課
11	単	地域地区等調査事業	①都市計画情報(区域区分・用途地域・都市計画施設等)をデジタル化した「つちうらマップ」について、新たに立地適正化計画の誘導区域及び景観計画の重点地区等の情報を登録し、市ホームページで公開することで、接触機会の低減による新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減と市民の更なる利便性の向上を図る。 ②GIS更新委託料	③-III-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4.1	R5.3.20	2,387	2,387	・「つちうらマップ」に3区域のデータを追加 ・都市計画等情報頁閲覧数14,000回	以下のとおり、業務委託を実施し、「つちうらマップ」に、立地適正化計画の誘導区域及び景観計画重点地区の情報を更新した。 ・都市計画情報等GIS更新業務委託:2,387千円 ・都市計画等情報頁閲覧数:22,000回(R4)	都市計画情報を更新し、市ホームページで公開することで、接触機会の低減による感染拡大の防止と市民・事業者の利便性の向上に寄与した。	地域地区等調査事業(都市計画情報等GIS更新事業)	R4当初	都市計画課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
12	単	GIGAスクール構想推進事業	①GIGAスクール構想による児童生徒への1人1台端末環境の整備について、コロナの蔓延防止のための学校臨時休業や出席停止時のオンライン学習に備えるため、持ち帰り用配布端末を追加で配備する。 ②持ち帰り用配布端末等の備品購入費	③-Ⅲ-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.4.1	R4.12.16	17,985	17,984	持ち帰り用配布端末・ソフトウェア398台	GIGAスクール構想による児童生徒への1人1台端末環境の整備に関連して、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のための学校臨時休業や出席停止時のオンライン学習に備えるため、持ち帰り用配布端末を以下のとおり追加で配備した。 ◎事業費の内容 ・端末 40,150円×398台=15,980千円 ・ソフトウェアライセンス料 2,005千円×1式 ※ソフトウェア関連事業費は、令和4年度実施計画の臨時交付金の対象となる令和4年度期間中にかかる経費を計上。	市立小中義務教育学校の全学級の児童生徒が、臨時休校等の際、自宅で配付端末を活用したリモート学習を実施できる学習環境を整備することで、非常時でも子どもたちの学びを止めない学習体制を構築することができた。	GIGAスクール構想推進事業	R4当初	学務課
13	単	学校保健特別対策事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症の長期化が見込まれる中、今後の感染拡大に備え、学校で使用する新型コロナウイルス感染症予防対策物品を購入する。 ②新型コロナウイルス感染症予防対策消耗品購入費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R5.3.31	6,001	3,000	感染予防対策物品の購入 ・マスク (50枚入×224箱) ・消毒液等 (手指消毒用アルコール消毒液1L×332本、物品消毒用アルコール消毒液500ml×4180本、アルコールタオル250枚×35箱) ・石鹸液・潜在等 (石鹸液20kg×98本、キッチンハイター600ml×687本) ・体温計等 (非接触型体温計34個、電子体温計58個) ・その他 (使い捨て手袋100枚入×1,443箱、ペーパータオル200枚×4,180袋)	新型コロナウイルス感染症蔓延防止についての文科省の指針に基づき、感染症対策消耗品を購入し、市立小中義務教育学校に配備した。 ◎購入物品の内容 ・不織布マスク50枚×73箱、20枚×7箱 ・物品消毒用消毒液500ml×2,245本 ・手指消毒液600ml×8本、1L×313本、5L×18本 ・アルコールタオル250枚×104個、200枚×33個、100枚×79個 ・ハンドタオル200枚×2,104箱 ・漂白剤400ml×148本、600ml×89本 ・石鹸液250ml×66本、500ml×372本、800ml×38本、4.5L×9本、5kg×111本、10kg×21本、18kg×7本 ・床用ワイパー41本 ・トイレクリーナー10枚×355個 ・ポリエチレン手袋100枚×522箱 ・プラスチック手袋100枚×429箱 ・舌圧子100枚×16箱、210枚×18箱 ・耳鏡100個×10袋 ・遮眼子50枚×74箱 ・非接触体温計158台 ・電子体温計129本 ・防水シート42枚、20枚×18袋、36m×24巻 ・汚物処理セット25組、3セット×7組 ・吐瀉物凝固剤100g×48個 ・吐瀉物処理用チリトリ21個×2組、10個×30組 ・サーキュレーター1台 ・スタッキングチェア4台 ・消毒スタンド3台	市立小中義務教育学校に感染症対策消耗品を配備することにより、マスクの着用・手洗い・消毒作業・検温等の予防策を徹底し、学校での感染拡大の防止をすることで、児童生徒が安心して過ごせる学校環境を整えることができた。	学校保健管理費新型コロナウイルス感染症対策事業	R4当初	学務課
14	単	観光資源掘り起こし事業	①新しい観光コンテンツとして、本市が登場するアニメ「機動警察パトレイバー」デザインのマンホールを市内の複数箇所 (15箇所程度) に設置するとともに、マンホールをポイントとしたデジタルスタンプラリーシステムを構築することで、コロナによる人流抑制で落ち込んだ観光入込客数の増加を図り、併せて市内の回遊性を高めることで、本市の地域経済の活性化につなげる。 ②デザインマンホール作成委託料、工事費、権利使用料	③-II-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	R4.5.12	R5.3.30	11,143	11,143	「機動警察パトレイバー」デザインのマンホール設置 (15箇所程度)	・市本庁舎でのマンホール蓋の展示会の実施 ・マンホールの写真をSNSに掲載した特典に、オリジナルグッズをプレゼントする事業の実施 ・マンホールのデザインのキーホルダーをガチャで販売 ・マンホールカードの配付	各イベントに多くの来場者があり、コロナ収束後を見据え、本市の観光資源を有効に活用し、交流人口回復の契機づくりに寄与した。 特に、マンホールカード配付については、累計配付枚数が12,000枚を超えるなど、本市への来訪者増に結びつき、地域経済の活性化につながった。	企画費関係新型コロナウイルス感染症対策事業	R4補正 (R4.5.12臨時会)	政策企画課
15	単	LoGoフォーム導入事業	①接触機会の減少によるコロナ感染リスクの低減化に加え、多面的な業務改善を図るため、各種手続や講座等の申込みや市民向けのアンケート集計等をオンライン上で行うことができ、かつデータ管理が可能となる機能を有するデジタル化ツール「LoGoフォーム」を導入する。 ②「LoGoフォーム」システム使用料	③-Ⅲ-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.5.12	R5.3.31	594	594	「LoGoフォーム」40件で使用	令和4年7月からLoGoフォームを導入し、全庁的に運用を開始。また、オンライン申請を推進するため、定期的な各課へのアナウンスに加え、職員を対象としたLoGoフォーム操作説明会を随時開催。さらには、市民対象のスマートフォン講座において、LoGoフォームを用いたオンライン申請を題材とするなど、申請側、受付側双方からの利用推進を図った。	LoGoフォームフォーマット数：599フォーマット	LoGoフォーム導入事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正 (R4.5.12臨時会)	行革デジタル推進課

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
16	単	学祭TSUCHIURA高校PR動画作成事業	①市内及び近隣自治体の高校生が一堂に会し、自慢の部活動の披露や学校生活を紹介する「学祭TSUCHIURA」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、制限を設けて開催することが想定されるため、当日の様子や高校生の活躍ぶりを撮影し、PRに活用するとともに、観客が密な状態になることを回避する。 ②動画作成委託料	③-II-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	R4.5.12	R4.9.16	495	495	「学祭TSUCHIURA」参加10校の動画作成	感染症対策をしながら開催し、ステージパフォーマンスには173人の高校生が参加した。その動画を作成し、市内中学校へ配布した。 撮影本数 15本(7校分×2本(ステージ編とインタビュー編、総集編1本)) 動画時間 1校あたり約10分	作成した動画を発信することにより、参加各校のPR及び本市の魅力発信に寄与した。	学祭TSUCHIURA高校PR動画作成事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正 (R4.5.12臨時会)	広報広聴課
17	単	職員厚生関係新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナ感染症の拡大防止と待機期間の短縮による人員不足解消のため、職員検査用の抗原定性検査キットを購入する。 ②抗原定性検査キット購入費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R5.3.6	234	233	抗原定性検査キット購入(10回分×25箱)	本庁に5箱、消防に20箱を配置	職員の健康管理、及び感染拡大の防止に寄与した。	職員厚生関係新型コロナウイルス感染症対策事業	R4補正 (R4.5.12臨時会)	人事課
18	単	市職員採用試験新型コロナウイルス感染症対策事業	①市職員採用試験の1次試験をテストセンター方式とし、Web上で受験可能にすることで、受験者及び市職員の新型コロナウイルス感染リスクの低減を図る。 ②職員採用試験採点委託料(掛り増し経費分)	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.4.1	R4.9.15	1,431	1,430	市職員採用試験の1次試験の受験者660人	R4.10採用 受験者:129名 R5.4採用 受験者:413名 合計542名	1次試験をテストセンター方式とし、Web上で受験可能としたことで、受験者及び市職員の新型コロナウイルス感染リスク低減に寄与した。	人事管理事業	R4当初	人事課
20	単	公共施設予防対策事業	①公共施設内で使用する新型コロナウイルス感染症予防対策物品を購入し、公共空間の安心・安全の確保に供する。(本庁舎含む52施設) ②新型コロナウイルス感染症予防対策消耗品の購入費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R4.9.15	1,999	1,998	感染予防対策物品の購入 ・窓口用アクリルパーテーション100枚 ・執務室用アクリルパーテーション484枚	以下の各感染予防対策物品を購入し、公共施設に配備した。 ・窓口用アクリルパーテーション125枚 ・執務室用アクリルパーテーション348枚	市の公共施設に各感染症予防対策物品を配備することにより、来庁者が安心して施設を利用できる環境を整えることができた。	財産管理関係新型コロナウイルス感染症対策事業	R4補正(地)	管財課
21	単	自宅療養者支援事業	①コロナウイルス陽性の自宅療養者と同居家族などに対して食料等を配付し、療養生活を支援する。 ②食糧等支援用物品購入	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	R4.5.12	R5.2.17	6,168	6,167	食糧等支援用消耗品3,020人分	支援用の食料セット(1日3食相当分のレトルト食品等を1人あたり3日分)を希望する市内居住者に、市職員が配送した。 【支援件数】 受付件数:901件 配送数:2,363件	自宅療養者と同居家族への食料等の支援の申し込みに対し、早急に対応でき、安心して生活支援に寄与した。	予防費関係新型コロナウイルス感染症対策事業	R4補正(地)	健康増進課
22	単	マタニティタクシー利用料金助成事業	①妊娠中にコロナウイルスに感染すると重症化のリスクが高いため、妊婦が検診の受診等で外出する際に、公共交通機関等の利用を避けて移動できるよう、タクシーを利用する際に使用できる助成券を交付。 ②妊婦1人につき500円のタクシー利用料金助成券を20枚交付	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	R4.4.1	R5.3.31	1,196	1,190	タクシー利用料金助成券2,400枚	以下のとおり、事業を実施した。 ◎事業の概要 ・目的:妊産婦が健診の受診等において外出する際に、公共交通機関等の利用を避けて移動できるよう、タクシーに乗車する際の運賃を助成する。 ・対象者:母子健康手帳の交付を受けた妊産婦 ・助成方法:申請により、妊婦1人につき500円のタクシー利用券を20枚交付(合計1万円分) ・助成内容:タクシー利用券1枚につき運賃から500円を助成する。※1回の乗車で、複数枚のタクシー利用券が使用可能。 ・有効期間:母子健康手帳の交付日から1年間 ◎実績 ・利用人数:延べ533人 ・利用金額:740円×52枚=38,480円 500円×2,677枚=1,338,500円 ◎事業費の内容 ・補助金:1,376,980円(タクシー業者に支払)	コロナ禍においても、妊産婦の経済的負担を軽減し、安心して出産、育児ができる環境整備に寄与した。	マタニティタクシー利用料金助成事業	R4当初	こども政策課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
23	単	子ども食堂臨時代替事業	①コロナの影響により、地域で開催している子ども食堂(市内8か所)が従来実施していた場所での食事提供ができないため、テイクアウトに必要な物品を提供することで、食事の継続提供を支援する。 ②消耗品費(テイクアウト用物品)	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	R4.5.12	R4.5.31	538	538	テイクアウト用物品の購入 ・弁当パック 11,900個 ・マスク80箱 ・割箸11,900膳 ・手指消毒液80本 ・手袋160箱 ・ペーパータオル80箱	以下のとおり事業を実施した。 ◎事業の概要 コロナ禍の中でも、子ども食堂が継続して開催できるよう、感染対策及びテイクアウトに必要な物品を購入し、子ども食堂に配布した。 ◎実績 配布団体: 市内子ども食堂8団体 配布物品: 感染対策及びテイクアウト品10ヶ月分 ①弁当パック 11,900個、②割箸 11,900膳 ③マスク 80箱、④手指消毒液 80本 ⑤手袋 160箱、⑥ペーパータオル 80箱 ◎事業費の内容 消耗品費: 538千円	子ども食堂に対し、感染対策及びテイクアウトに必要な物品を配布することで、継続的に子ども食堂を開催してもらうことができた。また、子ども食堂を支援することで、利用料金の維持に寄与した。	子ども食堂臨時代替事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	こども政策課
24	単	事業者支援一時金支給事業	①コロナの感染拡大に伴う緊急事態宣言等の影響を受け、売上げの急減に直面する事業者に対し、一時金を支給することで、力強く事業継続支援を行うもので、売上高に応じて、県の一時的金への上乗せ支給を行う。 ②茨城県事業者支援一時金支給決定者について、売上高に応じて算定する1事業者あたり10万円から250万円の扶助費	③-I-4. 事業者への支援	R4.5.12	R5.1.27	131,350	131,350	事業者支援一時金701事業者	【土浦市事業者支援一時金給付事業概要】 ○給付額 1事業者につき「茨城県営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金」支給金額の半額 ・1回目: R3.1・2月分 一律10万円(県支給額: 20万円) ・2回目: R3.4~6月分 一律10万円(県支給額: 20万円) ・3回目: R3.8・9月分 売上により10~250万円(県支給額: 20~500万円) ・4回目: R4.1~3月分 売上により10~250万円(県支給額: 20~500万円) ○支給要件 次の要件の全てに該当する事業者 ・「茨城県営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金」を受給していること。 ・本市内に主たる事業所を有する法人又は個人事業者であること。 ・事業収入を得ており、今後も本市内で事業継続意思があること。 【事業費実績】 ・事業者一時支援金 計131,350千円(令和4年度支給分) 【内訳】 ・県1回目対象: 1,500千円(15事業者) ・県2回目対象: 2,600千円(26事業者) ・県3回目対象: 21,150千円(37事業者) ・県4回目対象: 106,100千円(446事業者)	営業時間短縮要請協力金(飲食店等、2.5万円~10万円×日数)の対象とならないが、コロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者への支援を行うことで、県と協調して、幅広い事業者の事業継続に寄与した。	緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金支給事業(新型コロナウイルス対策)	R4補正(地)	商工観光課
25	単	農業センター新型コロナウイルス感染症対策事業	①農業センターにおいて、職員と来庁者に向けた新型コロナウイルス感染症予防対策物品を配備し、感染症拡大防止の徹底を図る。 ②消毒液スタンド、サーマルカメラ、空気清浄機の購入費用	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R4.12.9	639	639	感染予防対策物品の購入 ・消毒液スタンド2台 ・サーマルカメラ2台 ・空気清浄機2台	以下のとおり、農業センターの利用者等の感染症拡大防止対策のための機器導入を実施した。 【設置機器等】 ・空気清浄機: 2台 ・サーマルカメラ: 2台 ・消毒液スタンド: 2台	感染予防対策物品の導入により、当該施設利用者等の感染症拡大防止対策を図ることが出来た。	農業センター管理運営事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	農林水産課
26	単	日本一のれんこん産地推進事業	①長引くコロナの影響で外食産業の需要が落ち込む中、日本一のれんこん産地である本市のれんこんを積極的にアピールするため、走る広告媒体として、市外經由土浦駅発着10系統のバスにラッピングを実施することで、れんこんの消費を拡大し、生産農家の収益性の向上につなげるとともに、経済活動の再開に向けて、日本一のれんこん産地として地域の活性化を図る。 ②バスラッピング広告料=7,700千円	③-II-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	R4.5.12	R5.3.31	12,837	12,837	バスラッピング広告10台	以下のとおり、長引くコロナの影響で外食産業の需要が落ち込む中、日本一のれんこん産地である本市のれんこんを積極的にアピールするため、走る広告媒体として、市外經由土浦駅発着10系統のバスにラッピングを実施することで、れんこんの消費を拡大し、生産農家の収益性の向上に向けて、日本一のれんこん産地として地域の活性化を図った。 【実施内容】 バスラッピング広告料 ・広告掲出料 @513,700円×10台=5,137,000円 ・制作施工費 @770,000円×10台=7,700,000円	土浦駅発着の路線バス10台において「日本一のれんこん産地つちうら」を掲げて走行することで、市内外の多くの方の目に留まり、れんこん生産量日本一を広くPRすることができ、土浦市産れんこんの需要喚起につながり、付加価値向上及び地域の活性化を図ることができた。	日本一のれんこん産地推進事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	農林水産課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
27	単	地域交通関連事業者等運行継続緊急支援事業	①コロナの感染収束が不透明な中、外出自粛やテレワークの推進、イベントや旅行・遠足の自粛等人流抑制の影響を受け、輸送人員・輸送収入がかつてない水準まで落ち込んでいる地域公共交通関連事業者の運行継続を支援することで、住民の日常生活生活において欠かすことができない公共交通としての機能維持を図るとともに、感染症収束後の観光需要に備える。 ②支援金	③-Ⅲ-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	R4.5.12	R4.12.9	17,925	17,925	地域交通関連事業者等運行継続緊急支援金 ・路線バス3事業者111台 ・貸切バス9事業者53台 ・タクシー23事業者314台 ・運転代行24事業者87台	運行補助事業（地域交通関連事業者運行継続緊急補助金） ◎概要：市内に本社を置く地域交通関連事業者（乗合バス（乗合バス事業者は支店を含む）、タクシー、乗合タクシー、貸切バス及び運転代行の各事業者）に対し、補助金を交付 ◎交付実績：17,925千円 保有車両（乗合バス事業者にあっては市内の本社、支店又は営業所、貸切バス事業者にあっては市内の本社又は営業所において保有するものに限る。）に応じて定額交付 ・乗合バス事業者3社107台（1台につき75千円） ・貸切バス事業者7社45台（1台につき50千円） ・タクシー事業者19社262台（1台につき25千円） ・運転代行事業者18社55台（1台につき20千円）	市民の重要な移動手段である公共交通等の運行継続に努めている事業者へ補助金を交付することで、バス路線等の公共交通維持に寄与した。	地域交通関連事業者運行継続緊急支援事業（新型コロナウイルス感染症対策事業）	R4補正（地）	都市計画課
28	単	常備消防新型コロナウイルス感染症対策事業	①消防本部及び各消防署における職員と来庁者に向けた新型コロナウイルス感染症予防対策資機材を配備し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の徹底を図る。 ②消防隊員用防塵マスク、サーマルカメラ、空気清浄機購入費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R4.9.26	2,379	2,378	感染症拡大防止対策物品の購入 ・消防隊員用防塵マスク154個 ・サーマルカメラ4台 ・空気清浄機14台	以下のとおり、感染症予防対策資機材を整備した。 ・消防隊員用防塵マスク（154個） ・サーマルカメラ（4台） ・空気清浄機（14台）	新型コロナウイルス感染症の再拡大や感染拡大の長期化に対応するため、消防隊員、各消防署に感染症予防対策資機材の配備を強化することで、職場内感染拡大防止並びに消防業務継続体制の構築に寄与した。	常備消防一般管理事業（新型コロナウイルス感染症対策事業）	R4補正（地）	消防総務課
29	単	小学校学校サポーター配置事業	①コロナ下での臨時休校に伴う学習等への支援や校内の消毒作業に加え、増加する教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員を補助する学校サポーターを市内の全小学校に配置し、児童が安心して学習できる環境や、教職員がより児童への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。 ②会計年度任用職員の報酬、通勤費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R5.3.31	6,366	6,100	学校サポーター ・市内の全小学校15校×1名	以下のとおり、学校サポーターを配置した。 ・市内の全小学校15校に、各校1名配置。 ・実施期間：R4.5.12～R5.3.31 ・決算額 6,365,764円 【内訳】報酬 6,141,935円 通勤費 223,829円	教職員を補助する学校サポーターを配置することによって、コロナ下での臨時休校に伴う学習等への支援や校内の消毒作業及び増加する教職員の業務の負担軽減を図ることができた。	小学校学校サポーター配置事業（新型コロナウイルス感染症対策事業）	R4補正（地）	指導課
30	単	中学校学校サポーター配置事業	①コロナ下での臨時休校に伴う学習等への支援や校内の消毒作業に加え、増加する教職員の業務の負担軽減を図るため、教職員を補助する学校サポーターを市内の全中学校に配置し、生徒が安心して学習できる環境や、教職員がより生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。 ②会計年度任用職員の報酬、通勤費	③-I-3. 感染防止策の徹底	R4.5.12	R5.3.31	3,277	3,000	学校サポーター ・市内の全中学校8校×1名	以下のとおり、学校サポーターを配置した。 ・市内の全中学校8校に、各校1名配置。 ・実施期間：R4.5.12～R5.3.31 ・決算額 3,276,694円 【内訳】報酬 3,176,878円 通勤費 99,816円	教職員を補助する学校サポーターを配置することによって、コロナ下での臨時休校に伴う学習等への支援や校内の消毒作業及び増加する教職員の業務の負担軽減を図ることができた。	中学校学校サポーター配置事業（新型コロナウイルス感染症対策事業）	R4補正（地）	指導課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
31	単	プレミアム付商品券発行事業 (物価高騰分)	①コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、プレミアム商品券の発行し、地域消費の喚起を図り、市民の生活支援及びコロナの影響を受ける地元事業者の支援を行う。 ②補助金交付対象経費 (1万円分の商品券を5千円で販売、差額及び事業執行に係る事務費)、商品券の購入券の印刷及び郵送に係る経費	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.6.24	R5.3.31	293,595	293,595	プレミアム付商品券68,000冊	以下のとおり、プレミアム付商品券を発行した。 ◎事業概要 ・事業主体：土浦商工会議所 ・発行総額：680,000千円 (販売総額：340,000千円) ・プレミアム率：100% ・券額面：1セット10,000円の商品券を5,000円で販売 (全店共通券500円×14枚+特別応援店専用券500円×6枚) ・発行総数：68,000セット (1世帯1セット) ・販売期間：R4.9.1~R4.10.31 ・販売実績：68,000セット⇒完売 ・利用期間：R4.9.1~R5.2.28 ・対象店舗：722店舗 (うち特別応援店専用券該当408店舗) ・換金実績：675,055千円⇒換金率99.3% ※特別応援店専用券：飲食店や宿泊業等の新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた業種で使える券 ◎事業費の内容：購入引換はがき印刷代、購入引換はがき郵送料、土浦商工会議所への補助金 (プレミアム分+事務費等一式：371,808千円)	当事業の実施により、地域の消費活動が活発となり、コロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者への支援に寄与した。	プレミアム付商品券発行事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正 (地)	商工観光課
32	単	プレミアム付商品券発行事業 (国のR3年度補正予算分)	①コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、プレミアム商品券の発行し、地域消費の喚起を図り、市民の生活支援及びコロナの影響を受ける地元事業者の支援を行う。 ②補助金交付対象経費 (1万円分の商品券を5千円で販売、差額及び事業執行に係る事務費)、商品券の購入券の印刷及び郵送に係る経費	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	R4.6.24	R5.3.31	81,236	81,236	プレミアム付商品券68,000冊	以下のとおり、プレミアム付商品券を発行した。 ◎事業概要 ・事業主体：土浦商工会議所 ・発行総額：680,000千円 (販売総額：340,000千円) ・プレミアム率：100% ・券額面：1セット10,000円の商品券を5,000円で販売 (全店共通券500円×14枚+特別応援店専用券500円×6枚) ・発行総数：68,000セット (1世帯1セット) ・販売期間：R4.9.1~R4.10.31 ・販売実績：68,000セット⇒完売 ・利用期間：R4.9.1~R5.2.28 ・対象店舗：722店舗 (うち特別応援店専用券該当408店舗) ・換金実績：675,055千円⇒換金率99.3% ※特別応援店専用券：飲食店や宿泊業等の新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた業種で使える券 ◎事業費の内容：購入引換はがき印刷代、購入引換はがき郵送料、土浦商工会議所への補助金 (プレミアム分+事務費等一式：371,808千円)	当事業の実施により、地域の消費活動が活発となり、コロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者への支援に寄与した。	プレミアム付商品券発行事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正 (地)	商工観光課
33	単	子育て世帯への水郷プール無料招待事業	①コロナの感染拡大の影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、レジャー・余暇活動を支援するため、中学生以下の子供のいる全ての世帯に、市プールの無料招待券 (3回分) を配付する。 ②プール利用料、委託料、通信運搬費	③-III-4. 公的部門における分配機能の強化等	R4.6.24	R4.9.12	16,561	16,560	プール無料招待券 (3回分) 対象人数15,342人	中学生以下の子供のいるすべての世帯に市プールの無料招待券 (3回分) を配付した。 親子招待券発行枚数：92,178人分 招待券利用者数：18,716人	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯に対して経済的負担の軽減を図るとともに、レジャー・余暇活動を支援することができた。	体育施設維持管理	R4補正 (地)	スポーツ振興課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
34	単	自治体マイナポイント「つちうら子育て支援ポイント」事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、18歳以下(2004年4月2日以降出生)の子供に対し、自治体マイナポイント1万円を付与し、消費を下支えする。また、新型コロナウイルスに関する市からのお知らせやワクチン接種の最新情報等を子育て世帯にリアルタイムに提供するため、土浦市公式LINEへの登録を条件に加え、子育て世帯への積極的な情報発信を推進する。 ②マイナポイント付与に係る委託料	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.5.24	79,880	79,880	18歳以下の子供 9,132人	キャッシュレス事業者として、d払い(NTTドコモ)、auPAY、楽天Edy、CoGoa(スーパータイヨー、ベストリカー)の4種を用意し、マイナポイントを付与することで、子育て世帯の生活支援、マイナンバーカードの交付率向上、土浦市公式LINEによる効果的な情報発信を実施した。	マイナポイント付与者： 7,988人	自治体マイナポイント「つちうら子育て支援ポイント」事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	行革デジタル推進課
35	単	障害者福祉施設等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている障害福祉サービス事業所等に対し補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行う。 ②障害者福祉施設等支援補助金	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.3.24	11,900	11,900	市内の障害福祉サービス事業所等 83事業所	以下のとおり物価高騰対策支援金を交付した。 ◎交付実績 ・決算額 11,900千円 ・交付件数 63件 【内訳】 通所系施設 @100千円×44件=4,400千円 入所系施設(定員19名以下) @250千円×8件=2,000千円 入所系施設(定員20名以下) @500千円×11件=5,500千円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている障害福祉サービス事業所等に対し補助金を交付し価格高騰に対する支援を行うことで、これらの事業所の事業継続に寄与した。	障害者福祉施設等支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	障害福祉課
36	単	高齢者福祉施設等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている高齢者福祉施設等に対し補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行う。 ②高齢者福祉施設等支援補助金	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.3.24	29,450	29,450	市内の高齢者福祉サービス事業所等 121事業所	申請があった市内高齢者福祉施設に対し、以下のとおり補助金を交付した。 ・入所・入居系施設(定員20人以上) 1事業所につき500,000円×39事業所 ・入所・入居系施設(定員19人以下) 1事業所につき250,000円×13事業所 ・通所系施設 1事業所につき100,000円×67事業所 計 119事業所 29,450,000円 ※営業日数等の補助要件を満たさなかった事業所があるため、実績値が成果目標より低くなっている。	物価高騰の影響による光熱水費や食料費等の上昇分を一部補助することにより、事業所運営の安定化に寄与した。	高齢者福祉施設等支援事業 (新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	高齢福祉課
37	単	医療機関等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている医療機関等に対し補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行う。 ②医療機関等支援補助金	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.4.14	29,600	29,600	市内の医療機関等 258機関	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている医療機関に対し、補助金を交付し支援を行った。 ◎交付実績 ・決算額：29,600千円 【内訳】 診療所×81医院×@100千円=8,100千円 診療所(1床~19床)×4医院×@250千円=1,000千円 病院(20床~199床)×4医院×@500千円=2,000千円 病院(200床~)×4医院×@1,000千円=4,000千円 歯科×77医院×@100千円=7,700千円 薬局×68医院×@100千円=6,800千円	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等による物価高騰の影響を受けた光熱水費について、診療報酬に転嫁できない医療機関を支援することにより、持続可能な診療体制を確保し、市民の医療不安の解消を図ることができた。	医療機関支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	健康増進課

N o	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)
38	単	子ども食堂運営支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている子ども食堂に対し補助金を交付し、子育て世帯等の利用者が負担する料金を値上げすることなく、継続して提供できるようにする。 ②子ども食堂物価高騰対策事業費補助金	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.4.21	283	283	市内の子ども食堂7ヶ所	以下のとおり事業を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている子ども食堂に対し補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行った。 ◎実績 補助団体：市内子ども食堂7団体 補助対象期間：令和4年4月分～令和5年3月分 補助額：1食あたり 26円 補助食数：10,899食 ◎事業費の内容 補助金：@26円×10,899食=283千円	子ども食堂に対し、食材費等の値上げ相当分を経済支援することで、子育て世帯等の利用者が負担する料金を値上げすることなく、継続した食事の提供に寄与した。	子ども食堂運営支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	こども政策課
39	単	私立保育所等給食費負担軽減事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている私立保育所等に対し補助金を交付し、保護者の負担する給食費を値上げすることなく、安全・安心な給食を提供する。 ②私立保育所等運営支援補助金	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.4.21	18,684	18,684	市内の保育所等の児童3,832人	以下のとおり、私立保育所等に対し補助を行った。 ・私立保育所等運営支援補助金：児童3,114人18,684千円 児童1人当たり@500円×12か月=6,000円	給食の提供に際し物価高騰の影響を受けている私立保育所等に対し、補助を行うことにより、保護者の負担する給食費を値上げすることなく、安全・安心な給食を提供できた。	私立保育所等運営支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	保育課
40	単	貨物自動車運送事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー価格高騰の影響を受けている貨物自動車運送事業者に対し補助金を交付し、地域に不可欠な貨物自動車運送事業者の事業継続に対する支援を行う。 ②貨物自動車運送事業者支援補助金 固定支給：1事業者あたり100千円 車両支給：1台あたり20千円、上限400千円	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.5.12	45,600	45,600	市内に事業所を有する道路貨物運送事業者164事業者	【貨物自動車運送事業者支援補助金事業概要】 市内に事業所を有する道路貨物自動車運送事業者に対し、市内事業所が管理する車両台数に応じ算出した土浦市貨物自動車運送事業者支援補助金を支給する。 ○支給額 ・固定支給 1事業者あたり10万円 ・車両支給 1台あたり2万円 車両支給上限額40万円 ○対象者 市内に事業所を有する道路貨物運送事業者 【事業費実績】 支援補助金支給額 45,600千円(内訳) ・法人 42,000千円 一般貨物運送 40,980千円 貨物軽運送 1,020千円 ・個人 3,600千円 貨物軽運送 3,600千円	燃料価格高騰の影響を受けた運送事業者に対して補助金を交付することにより、事業継続に寄与することができた。	貨物自動車運送事業者支援金支給事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	商工観光課
41	単	認定農業者等支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・農業用資機材・肥料・飼料等の価格高騰の影響を受けている農業者に対し補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行う。 ②認定農業者等支援補助金	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.3.10	13,700	13,700	市認定農業者192経営体 市認定新規就農者13経営体	以下のとおり、コロナ禍の外食控え等の影響がある中、エネルギー・農業用資機材、肥料等の物価高騰に直面した認定農業者等に対し、補助金を交付した。 【補助内容】 市内の認定農業者及び認定新規就農者に対し、100,000円の補助金の交付 ・市認定農業者 @100千円×128経営体=12,800千円 ・市認定新規就農者 @100千円×9経営体= 900千円	コロナ禍における多様な影響に直面した認定農業者等に対し、補助金を交付して、負担軽減対策を図ることが出来た。	農業資材価格等高騰対策支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	農林水産課
42	単	水稲生産継続支援事業	①新型コロナウイルス感染症による外食控え等の影響がある中、エネルギー・農業用資機材、肥料等の物価高騰に直面し、価格への転嫁も難しい農業の担い手に対し、耕作面積に応じた補助金を交付し、価格高騰に対する支援を行う。 ②水稲生産継続支援補助金	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.10.31	R5.2.24	7,769	7,769	市内の主食用米作付面積64,626a	以下のとおり、コロナ禍の外食控え等の影響がある中、エネルギー・農業用資機材、肥料等の物価高騰に直面した水稲生産農家に対し、耕作面積に応じた補助金を交付した。 【補助内容】 市内主食用米作付面積50a以上の水稲生産農家に対し、10aあたり2,000円の補助金の交付 ・交付対象作付面積 38,845a	コロナ禍における多様な影響に直面した水稲生産農家に対し、耕作面積に応じた補助金を交付して、負担軽減対策を図ることが出来た。	水稲生産継続支援事業(新型コロナウイルス感染症対策事業)	R4補正(地)	農林水産課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	うち、交 付金充当	成果目標	取組実績	取組効果	市予算事業名	市予算区分	担当課 (R4担当課)	
43	単	学校給食費負担軽減事業	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により、従来の保護者負担の給食費では、これまでと同様の質、量の給食を提供することが困難な状況である。引き続き児童生徒に対し、保護者の負担する給食費を値上げすることなく、栄養バランスや量を保った安定した給食の提供を実施するため、賄材料費に対する補助を行う。 ②賄材料費（10月～3月分）	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.9.30	R5.3.23	12,917	12,917	児童6,314人 生徒3,978人	次のとおり、小中学校における賄材料費のうち、物価高騰による食材費の値上がり分を公費負担した。 児童 一食当たり12円×661,136食 生徒 " 15円×332,248食	物価高騰が続くなか、食材費の値上がり分を公費負担することで、給食の質を落とすことなく提供し、かつ保護者の負担軽減に寄与した。	土浦市立学校給食センター管理運営事業	R4補正（地）	学校給食センター	
44	単	プレミアム付商品券発行事業（重点交付金分）	①コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、プレミアム商品券の発行し、地域消費の喚起を図り、市民の生活支援及びコロナの影響を受ける地元事業者の支援を行う。 ②補助金交付対象経費（1万円分の商品券を5千円で販売、差額及び事業執行に係る事務費）、商品券の購入券の印刷及び郵送に係る経費	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.6.24	R5.3.31	1,254	1,253	プレミアム付商品券68,000冊	以下のとおり、プレミアム付商品券を発行した。 ◎事業概要 ・事業主体：土浦商工会議所 ・発行総額：680,000千円（販売総額：340,000千円） ・プレミアム率：100% ・券額面：1セット10,000円の商品券を5,000円で販売（全店共通券500円×14枚＋特別応援店専用券500円×6枚） ・発行総数：68,000セット（1世帯1セット） ・販売期間：R4.9.1～R4.10.31 ・販売実績：68,000セット⇒完売 ・利用期間：R4.9.1～R5.2.28 ・対象店舗：722店舗（うち特別応援店専用券該当408店舗） ・換金実績：675,055千円⇒換金率99.3% ※特別応援店専用券：飲食店や宿泊業等の新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた業種で使える券 ◎事業費の内容：購入引換はがき印刷代、購入引換はがき郵送料、土浦商工会議所への補助金（プレミアム分＋事務費等一式：371,808千円）	当事業の実施により、地域の消費活動が活発となり、コロナ禍により売上減少等の影響を受けている事業者への支援に寄与した。	プレミアム付商品券発行事業（新型コロナウイルス感染症対策事業）	R4補正（地）	商工観光課	
45	単	妊娠出産子育て支援交付金	①コロナ禍において、原油価格・物価高騰の影響を受けている妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、妊娠届、出生届のタイミングで、申請によりそれぞれの時期に5万円を給付する。また、令和4年4月1日から事業開始日までに出生した世帯に対して、遡及対応として10万円を一括支給する。 ②出産・子育て応援給付金	④-IV、コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援	R4.12.23	R5.4.14	12,750	6,903	妊娠届時対象者750人 出産届時対象者150人 遡及対象者700人	以下のとおり、支給対象者に出産・子育て応援給付金を支給した。 ◎出産応援給付金 支給対象者：R4.4.1以降に妊娠届出をした妊婦 支給額：妊婦1人あたり50千円 支給実績：47,700千円／954人 ◎子育て応援給付金 支給対象者：R4.4.1以降に出生した子どもの養育者 支給額：出生した子ども1人あたり50千円 支給実績：28,800千円／576人 ◎事業費の内容 補助金76,500千円	給付金による経済的支援により、コロナ禍において、原油価格・物価高等による影響を受けている妊婦、子育て世帯が、安心して出産、育児ができる環境整備に寄与した。		R4補正（国）	こども政策課	
合計							957,415	936,821							